

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		533-01-01			
事務事業名		都市間交流事業		事務の種類			
				自治事務(任意のもの)			
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先			
				内線1081			
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款	2	総務費
	施策の方向	3	都市間交流の充実		項	1	総務管理費
					目	16	市民協働費
対象(誰を・何を)		三市(三重県亀山市・奈良県御所市・大阪府羽曳野市)の市民					
目的(どうしたいか)		三市で市民交流を図る。					
手段(事業内容)		日本書紀の日本武尊・白鳥伝説を縁として、三重県亀山市・奈良県御所市・本市の三市持ち回りで、2年に一度、様々な分野で市民交流を実施する他、広報のやり取りを行う。					

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	0	375	0
人件費	815	983	607
総事業費	815	1,358	607
うち市負担分	815	1,358	607

30年度決算主な内訳	
【事業費】	
・講師謝礼	30千円
・記念品代	195千円
・消耗品	21千円
・食料費	30千円
・LIC利用料	98千円
【特定財源】	

## 活動指標

指標名	三市交流事業実施回数	単位	回
指標の説明	2年に一度、交流事業を実施		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	0	1	0

参考数値
・参加費無料

## 成果指標

指標名	三市交流事業参加人数	単位	人
指標の説明	羽曳野市の市民の参加人数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	0	30	0

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 御所市、亀山市と三市の間で、2年に1回都市間交流事業を実施している。平成30年度に当市が当番市となり事業実施し、市民間交流を図り、一定の評価を得ているところである。日本武尊が繋ぐ交流を今後も継続し、世界文化遺産登録がなされた後には、今まで以上に羽曳野市の文化・魅力を他市の方々にも知っていただく機会となると考える。市民主体の事業としての検討の余地や受益者負担等の導入も検討し、継続的な事業としていくことが必要であると思われる。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		533-01-02	
事務事業名		国際交流事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先 内線1081	
総合基本計画	施策目標	5	魅力発見賑わいと創造にあふれるまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	観光振興・都市間交流		款 2 総務費
	施策の方向	3	都市間交流の充実		項 1 総務管理費
					目 16 市民協働費
対象(誰を・何を)		市民			
目的(どうしたいか)		友好都市交流を通じて、国外における多くの人々と交流を図る。			
手段(事業内容)		友好都市(オーストリア共和国ウィーン市13区ヒーティング)との交流。現在の交流の取り組みは、周年記念事業の取り組みを主とし、毎年クリスマスカードや年賀状の交換による交流を行っている。 また、大韓民国忠清南道論山市とは親善交流を行っている。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	516	9	62
人件費	2,148	2,192	2,201
総事業費	2,664	2,201	2,263
うち市負担分	2,664	2,201	2,263

30年度決算主な内訳	
【事業費】	
・国際交流推進事業協力者謝礼	6千円
・郵便料	1千円
【特定財源】	

## 活動指標

指標名	友好交流都市等へ年賀状の送付枚数		単位	枚
指標の説明				
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	17	17	20	

## 成果指標

指標名	友好交流都市等との交流数		単位	回
指標の説明				
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	17	17	20	

参考数値

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 友好交流都市協定提携の締結以来、人的交流が積み重ねられてきており、周年事業を通じて、ヒーティングとの良好な関係を構築している。観光交流ということも踏まえて、関係課とも連携し取り組んでいく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		611-01-02	
事務事業名		はびきの市民大学運営事務事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先 内線1060	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	1	生涯学習		款 2 総務費
	施策の方向	1	生涯学習の機会と内容の充実		項 1 総務管理費
					目 16 市民協働費
対象(誰を・何を)		生涯を通して学習を続けていきたい市民対象			
目的(どうしたいか)		市民の生涯学習に関する機会の提供を行うことにより、市民の学習意欲の向上を図る。また、学習情報室の設置を行うことにより学習ボランティアとの交流等の場の提供も行う。			
手段(事業内容)		地域性を生かした独自のカリキュラムを作成し、専門的で体系的な学習の機会を提供することを目的とした定期講座の開催や社会の話題に対応した短期講座や公開講座などを開催し、生涯学習の機会を設置することにより、市民の学習意欲の向上を図る。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	31,888	29,220	28,001
人件費	1,185	1,285	1,745
総事業費	33,073	30,505	29,746
うち市負担分	33,073	30,505	29,746

30年度決算主な内訳	
【事業費】	
・市民大学委託料	21,984千円
・学長報酬	2,400千円
・LIC利用料	4,810千円
・複写サービス料	24千円
【特定財源】	

## 活動指標

指標名	はびきの市民大学開講講座受講者数	単位	人
指標の説明	市民大学の講座受講者総数(定期講座のみ)		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	862	765	770

参考数値

## 成果指標

指標名	受講率	単位	%
指標の説明	全受講者数÷講座の定員の総数×100		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	69.0	85.0	85.0

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 平成30年度より、通期制とし、より参加しやすい環境の整備を実施している。昨年度より受講率も増加している。従来の定期的な講座に加え、1回～3回という単発的な講座を開催し、広い年代層の方にも受講していく環境を整えており、今後も様々な検討を加えながら実施していく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		632-01-01	
事務事業名		ギャラリーはびきの運営事務事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先 内線1081	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	2	文化・芸術の振興と仕組みづくり		項 1 総務管理費
					目 16 市民協働費
対象(誰を・何を)		市民			
目的(どうしたいか)		文化・芸術に親しみ、意識の高揚を図る。			
手段(事業内容)		「ギャラリーはびきの」にて、年間5回、著名な現代工芸作家等の企画展や和島コレクション等の文化財資料の展示を実施している。また、企画展においては制作体験や、作家から直接作品の解説を行ってもらう「おしゃべりサロン」を実施している。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	489	360	402
人件費	2,370	2,116	2,125
総事業費	2,859	2,476	2,527
うち市負担分	2,859	2,476	2,527

30年度決算主な内訳
【事業費】
・展示協力者謝礼 40千円
・消耗品費 128千円
・印刷製本費 139千円
・写真撮影委託料 27千円
・清掃具備上料 24千円
【特定財源】

## 活動指標

指標名	年間の展示回数	単位	回
指標の説明	年間5回のうち、企画展を2回、文化財資料の展示を3回実施		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	5	2	5

## 成果指標

指標名	おしゃべりサロン参加人数	単位	人
指標の説明			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	111	22	30

参考数値
・入館無料
・おしゃべりサロン(制作体験) 企画展1回につき定員8人から20人
※29年度については、企画展2回のうち1回を制作体験ではなく講演会を開催したため、人数が大幅に増となった。

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 「ギャラリーはびきの」の施設及び展示については、見学者からは高い評価を得ている。今後も質を落とさず、魅力的な展示が行えるよう、引き続き取り組んでいく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		632-01-02	
事務事業名		伝統芸能保存育成事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先 内線1081	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき心身ともに躍動するまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	3	歴史・文化		款 2 総務費
	施策の方向	2	文化・芸術の振興と仕組みづくり		項 1 総務管理費
					目 16 市民協働費
対象(誰を・何を)		伝統芸能を保存育成していく団体			
目的(どうしたいか)		地域に密着した伝統芸能を後世に継承する。			
手段(事業内容)		伝統芸能を保存育成している2団体の活動資金の一部を助成する。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	60	60	60
人件費	444	378	379
総事業費	504	438	439
うち市負担分	504	438	439

30年度決算主な内訳
【事業費】 ・伝統芸能保存育成助成金
【特定財源】

## 活動指標

指標名	伝統芸能を保存育成している団体数		単位	団体
指標の説明	1. 羽曳野太鼓「翔」 2. 羽曳野野々上河内音頭同好会			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	2	2	2	

参考数値

## 成果指標

指標名	活動回数		単位	回
指標の説明	1. 羽曳野太鼓「翔」 11回 2. 羽曳野野々上河内音頭同好会 4回			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	21	15	20	

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 伝統芸能を後世に継承していくうえで必要な取り組みであるが、団体の高齢化により団体自体を継続していくことが今後の課題であり、引き続き支援に取り組んでいく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	711-01-02		
事務事業名		市民会館・古市集会所管理運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先	内線1060
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	1	市民協働と地域コミュニティ		款 2 総務費
	施策の方向	1	コミュニティ活動の活性化		項 1 総務管理費
					目 12 市民会館費
対象(誰を・何を)		施設利用をしたい市民対象			
目的(どうしたいか)		市民文化の向上やコミュニティづくりを目的として、対象施設を活動の場として快適に利用できるように提供する。			
手段(事業内容)		施設備品管理・各種行政サービス、会議室等の貸出を実施、施設運営について、民間の能力の活用と経費の節減に努めるために指定管理制度を導入し、自主事業も実施。			

## 事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	25,405	25,616	26,217
人件費	148	227	987
総事業費	25,553	25,843	27,204
うち市負担分	25,553	25,843	27,204

30年度決算主な内訳
【事業費】 ・市民会館・古市集会所指定管理料 25,616千円
【特定財源】

## 活動指標

指標名	開館日数	単位	日
指標の説明	開館している日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	360	360	360

## 成果指標

指標名	施設稼働率	単位	%
指標の説明	貸室利用数÷開館日数×100		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	54.0	56.0	58.0

参考数値

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 平成29年度に比べ、利用者数も増加している。市民ホール、会議室についても定期的な利用がなされており、市民のニーズは高い。自主事業についても参加者が増え、順調な推移がなされている。ただ、施設の老朽化に伴う諸設備の更新等の必要性があり、公共施設等総合管理計画に基づく検討を引き続き実施していくこととなる。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	711-01-03		
事務事業名		コミュニティセンター管理運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先	内線1060
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	1	市民協働と地域コミュニティ		款 2 総務費
	施策の方向	1	コミュニティ活動の活性化		項 1 総務管理費
					目 16 市民協働費
対象(誰を・何を)		施設利用をしたい市民対象			
目的(どうしたいか)		市民文化の向上やコミュニティづくりを目的として、対象施設を活動の場として快適に利用できるように提供する。			
手段(事業内容)		施設備品管理・各種行政サービス、会議室等の貸出を実施、施設運営について、民間の能力の活用と経費の節減に努めるために指定管理制度を導入し、自主事業も実施。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	57,268	57,110	56,419
人件費	741	831	987
総事業費	58,009	57,941	57,406
うち市負担分	58,009	57,941	57,406

30年度決算主な内訳
【事業費】 ・コミュニティセンター指定管理料 18,806千円 【特定財源】

## 活動指標

指標名	開館日数	単位	日
指標の説明	開館している日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	360	360	360

参考数値

## 成果指標

指標名	施設稼働率	単位	%
指標の説明	貸室利用数÷開館日数×100		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	50.0	49.9	50.0

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 身近な施設として、公共料金の収受なども実施しており、利用は順調である。自主事業も積極的に実施しており、市民への貢献度は高く、継続していく必要がある事業であると考え。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		711-02-01	
事務事業名		自治会活動支援事業		事務の種類 自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先 内線1080	
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	1	市民協働と地域コミュニティ		款 2 総務費
	施策の方向	1	コミュニティ活動の活性化		項 1 総務管理費
					目 16 市民協働費
対象(誰を・何を)		町会・自治会			
目的(どうしたいか)		地域コミュニティの活性化のため、住民自治の基本単位である町会・自治会を支援する			
手段(事業内容)		○町会・自治会の設立・運営に関する助言○羽曳野市連合区長会に対する助成金及び報償費の交付(連合区長会助成金、地域振興助成金、町会運営助成金、区長活動報償費)○羽曳野市連合区長会の事務局として、総会や7地区会長会議の開催事務			

## 事業費

単位:千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	13,488	13,353	14,186
人件費	6,287	3,703	3,643
総事業費	19,775	17,056	17,829
うち市負担分	19,775	17,056	17,829

30年度決算主な内訳	
【事業費】	
・区長活動報償費	5,700千円
・連合区長会助成金	570千円
・地域振興助成金	1,236千円
・町会運営助成金	5,846千円

## 活動指標

指標名	自治会加入世帯数	単位	世帯
指標の説明	全市世帯のうち、町会・自治会に加入している世帯の数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	36,740	36,322	35,920

参考数値	
【市世帯数】	※4月1日現在
・30年度	49,771世帯
・元年度	50,071世帯
【町会数】	※4月1日現在
・30年度	199
・元年度	199

## 成果指標

指標名	自治会加入率	単位	%
指標の説明	加入世帯数÷全世帯数×100		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	74.19	72.98	71.74

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 連合区長会、区長会、町会等の運営を支援することにより、市民の声を市政に反映させることができる。防犯灯の維持管理や清掃活動等の行政との連携協力を図っていく観点からも引き続き取り組みを進めていく。 そして、住民自治の実現に向けて、加入率を高め、更なる地域の活性化を図っていくことが必要だと考えられる。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	711-02-02		
事務事業名		集会所等整備助成事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先	内線1080
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち		
	施策	1	市民協働と地域コミュニティ		
	施策の方向	1	コミュニティ活動の活性化		
	予算科目	会計	1	一般会計	
		款	2	総務費	
		項	1	総務管理費	
		目	16	市民協働費	
対象(誰を・何を)		町会・自治会			
目的(どうしたいか)		住民自治によるまちづくりをめざすため、地域コミュニティの場となる集会所の新改築等を支援する			
手段(事業内容)		地区集会所の新築・増築・改修・地区集会所への公共下水道の接続工事やエアコン設備の取り付け工事、地区集会所とするため土地付き建物を購入及びその物件の増築・改築・改修・地区集会所用地として借用している敷地の購入に対して、その費用の一部(新築上限500万円、増築・改築・改修上限250万円、公共下水道接続工事上限50万円、エアコン設備上限70万円)を補助。			

## 事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	2,395	4,794	8,683
人件費	2,592	2,192	1,973
総事業費	4,987	6,986	10,656
うち市負担分	4,987	6,986	10,656

30年度決算主な内訳
【事業費】
・改修工事(3件) 3,925千円
・エアコン工事(4件) 869千円
【特定財源】

## 活動指標

指標名	補助件数	単位	件
指標の説明	前年度に要望があったもの及び緊急を要するものに対して、補助する件数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	3	7	3

参考数値
【要望件数】
・30年度 1件(前年度要望) 6件(緊急要望)
・元年度 1件(前年度要望) 2件(緊急要望)

## 成果指標

指標名	補助率	単位	%
指標の説明	要望件数に対し、実施できた件数の割合		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	100	100	100

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 地区集会所の整備については、経年劣化等による建物の改修等が必要な施設が増加している。地域コミュニティづくりの拠点整備の為、今後も引き続き支援に取り組んでいく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

				コード	712-02-01	
事務事業名		市民活動参加促進事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先	内線1060	
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	1	市民協働と地域コミュニティ		款	2 総務費
	施策の方向	2	市民活動への支援		項	1 総務管理費
					目	16 市民協働費
対象(誰を・何を)		市民活動を行っている若しくは行いたい市民				
目的(どうしたいか)		市民活動を実施している団体への支援活動や市民活動を行う予定の団体などに対し、情報提供など実施し、市民活動が活性化する街づくりを目指す。				
手段(事業内容)		市民活動を実施している団体への支援やこれから市民活動を行う予定の団体などに対し、市民活動への参画の仕方などについて情報提供など実施する。NPO法人等については、所轄庁として、事業報告等を所管し、法律改正時の通知などを実施するとともに、適宜必要な助言や指導を行う。				

## 事業費

単位:千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	518	1,285	1,214
総事業費	518	1,285	1,214
うち市負担分	179	783	852

30年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】 特定非営利活動法人設立認証等事務交付金 502千円

## 活動指標

指標名	権限移譲交付金処理件数		単位	件
指標の説明	特定非営利法人の設立の認証等に係る権限移譲交付金の処理件数			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	29	47	32	

参考数値

## 成果指標

指標名	特定非営利活動法人等に対する設立相談件数等		単位	件
指標の説明	特定非営利活動法人等に対する相談件数等			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)	
	4	2	4	

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民活動は、福祉、環境、文化、スポーツなどの様々な分野で展開されており、その活動は、生きがい、暮らしがいのある生活につながっている為、引き続き関係団体と連携し、活動支援に取り組む。NPOについては、毎年、1,2件の新規相談があり、設立認証等についても実施している。(権限移譲事務であり、継続は必要となる)

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	712-03-01		
<b>事務事業名</b>		緑と市民の協働ふれあいプラザ運営事務事業		<b>事務の種類</b>	自治事務(任意のもの)
<b>担当部署名</b>		市民人権部 市民協働ふれあい課		<b>連絡先</b>	内線1060
総合基本計画	<b>施策目標</b>	7	市民とともに築く自立したまち	予算科目	会計 1 一般会計
	<b>施策</b>	1	市民協働と地域コミュニティ		款 2 総務費
	<b>施策の方向</b>	2	市民活動への支援		項 1 総務管理費
					目 16 市民協働費
<b>対象(誰を・何を)</b>		施設を利用したい市民団体等			
<b>目的(どうしたいか)</b>		市民活動の向上やコミュニティづくりを目的として、対象施設を活動の場として快適に利用できるように提供する。			
<b>手段(事業内容)</b>		施設備品管理・各種行政サービス、会議室等の貸出を実施。施設管理について、多様な行政サービスの観点から直営方式による運営としている。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	83	83	87
人件費	5,191	5,088	5,217
総事業費	5,274	5,171	5,304
うち市負担分	5,274	5,171	5,304

30年度決算主な内訳
【事業費】 消耗品 82千円
【特定財源】

## 活動指標

指標名	開館日数	単位	日
指標の説明	開館日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	308	308	308

## 成果指標

指標名	施設稼働率	単位	%
指標の説明	貸館利用数÷会館日数×100		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	46	48	50

参考数値

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 市民活動の向上の為の貸館業務が主な事業であり、無料としていることから受益者負担等はない。業務についても、中央スポーツ公園の管理棟機能や放置自転車の管理業務なども併せて行なっており、現状の維持が適正だと考える。市民サービスの向上については引き続き努めていく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	712-03-02		
<b>事務事業名</b>		緑と市民の協働ふれあいプラザ管理事務事業		<b>事務の種類</b>	自治事務(任意のもの)
<b>担当部署名</b>		市民人権部 市民協働ふれあい課		<b>連絡先</b>	内線1060
総合基本計画	<b>施策目標</b>	7	市民とともに築く自立したまち	予算科目	会計 1 一般会計
	<b>施策</b>	1	市民協働と地域コミュニティ		款 2 総務費
	<b>施策の方向</b>	2	市民活動への支援		項 1 総務管理費
					目 16 市民協働費
<b>対象(誰を・何を)</b>		施設を利用したい市民団体等			
<b>目的(どうしたいか)</b>		市民活動の向上やコミュニティづくりを目的として、対象施設を活動の場として快適に利用できるように提供する。			
<b>手段(事業内容)</b>		施設備品管理・各種行政サービス、会議室等の貸出を実施。			

## 事業費

単位：千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	1,174	1,199	1,241
人件費	7,117	6,902	6,735
総事業費	8,291	8,101	7,976
うち市負担分	8,291	8,101	7,976

30年度決算主な内訳	
【事業費】	
・電気代	697千円
・機械警備委託料	75千円
・防災設備保守委託料	54千円
・修繕費など	28千円
他	
【特定財源】	

## 活動指標

指標名	修繕箇所	単位	箇所
指標の説明	修繕のあった箇所		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	2	2	1

参考数値

## 成果指標

指標名	安全に開館できた日数	単位	日
指標の説明	安全に開館できた日数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	308	308	308

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<b>担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容</b> 施設の電力の一部については、太陽光発電により賄っており、余剰電力については販売を行なっている状況である。施設利用に係る警備、電気代等が事業費の内訳である。中央スポーツ公園の管理棟機能等も行いながら事業展開をしている。施設管理については、引続き適正な管理を行なっていく。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	713-01-01		
事務事業名		市民フェスティバル開催事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先	内線1070
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち		予算科目 会計 1 一般会計 款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 16 市民協働費
	施策	1	市民協働と地域コミュニティ		
	施策の方向	3	協働によるまちづくりの推進		
	対象(誰を・何を)	市民			
目的(どうしたいか)		次世代を担う子どもたちの健やかな成長を願い、愛と夢あふれる思いやりの心に満ちたイベントとする。			
手段(事業内容)		こどもの日に開催する市内最大規模のイベントで、例年峯ヶ塚古墳を取り囲む峰塚公園を会場とし、羽曳野市の持つ歴史的資産を大切に、市民と市民が手を取りあって羽曳野市の魅力を次世代に継承するイベント。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	3,005	3,005	3,005
人件費	8,034	8,843	8,727
総事業費	11,039	11,848	11,732
うち市負担分	11,039	11,848	11,732

30年度決算主な内訳	
【事業費】	
補助金	2,980千円
旅費	20千円
需用費	5千円
【特定財源】	

## 活動指標

指標名	実行委員会会議回数	単位	回
指標の説明	市民フェスティバルの打ち合わせ回数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	10	10	10

参考数値	
30年度協賛金	2,600千円
模擬店協力金	242千円
チケット売上金	739千円

## 成果指標

指標名	来場者数	単位	人
指標の説明	当日の来場者数		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	40,000	35,000	35,000

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部署が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民や各種団体、学生ボランティア等のメンバーで実行委員会が構成されており、実行委員会会議で企画内容等を検討し、事業を実施している。今後も実行委員会と事務局が協力・連携することで効率よくイベントを実施する。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード		722-01-06	
事務事業名		多文化共生事業		事務の種類	
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		自治事務(義務的なもの)	
総合基本計画				連絡先	
施策目標		7 市民とともに築く自立したまち		内線1081	
施策		2 情報共有と広報		会計	
施策の方向		2 広報・広聴活動の充実		1 一般会計	
対象(誰を・何を)		外国人住民		2 総務費	
目的(どうしたいか)		外国人向けの生活情報誌などの発行や市民公益活動団体である「羽曳野国際交流ボランティアサークルみやび」による日本語教室への支援などを行っている。		1 総務管理費	
手段(事業内容)		外国人向けの生活情報誌などの発行や市民公益活動団体である「羽曳野国際交流ボランティアサークルみやび」による日本語教室への支援などを行っている。		16 市民協働費	

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	62	61	107
人件費	1,516	1,360	1,290
総事業費	1,578	1,421	1,397
うち市負担分	1,578	1,421	1,397

30年度決算主な内訳	
【事業費】	
・多文化共生推進事業協力者謝礼	50千円
・管内旅費	3千円
・消耗品費	7千円
【特定財源】	

## 活動指標

指標名	単位	回
日本語教室開催回数		
指標の説明	毎週月曜日と木曜日に開催(夏休み・冬休みは除く)	
指標データ	29年度実績	30年度実績
	83	81
令和元年度目標(見込)		
82		

参考数値

## 成果指標

指標名	単位	人
日本語教室学習者数		
指標の説明		
指標データ	29年度実績	30年度実績
	590	487
令和元年度目標(見込)		
500		

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献度が低い。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 他機関で行われている外国人のサービスについて情報収集を行い、ホームページ等を活用し、外国人が住みやすい環境づくりに取り組む。

# 令和元年度羽曳野市事務事業評価シート(平成30年度実施事業)

		コード	722-03-01		
事務事業名		法律・行政相談事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		市民人権部 市民協働ふれあい課		連絡先	内線1081
総合基本計画	施策目標	7	市民とともに築く自立したまち		
	施策	2	情報共有と広報		
	施策の方向	2	広報・広聴活動の充実		
	予算科目	会計	1	一般会計	
			款	2	総務費
			項	1	総務管理費
			目	2	広報広聴費
対象(誰を・何を)		羽曳野市在住・在勤・在学の方			
目的(どうしたいか)		法律や国の行政機関等の業務への苦情等に関する問題解決を図る。			
手段(事業内容)		・弁護士による無料法律相談の実施。・行政相談委員による行政相談の実施。			

## 事業費

単位: 千円	29年度決算	30年度決算	令和元年度当初予算
事業費	2,446	2,410	2,473
人件費	2,436	2,419	2,353
総事業費	4,882	4,829	4,826
うち市負担分	4,882	4,829	4,826

30年度決算主な内訳	
【事業費】	
・無料法律相談委託料	
2,399千円	
・図書購入費	5千円
・管内旅費	2千円
・消耗品費	2千円
【特定財源】	

## 活動指標

指標名	無料法律相談開催数	単位	回
指標の説明	毎週火曜日は市役所・第1・3木曜日は陵南の森公民館で開催		
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	76	76	75

参考数値

## 成果指標

指標名	無料法律相談相談者数	単位	人
指標の説明			
指標データ	29年度実績	30年度実績	令和元年度目標(見込)
	514	518	580

## 個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

## 総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民が気軽に弁護士に相談できる機会は必要不可欠であり、今後も複雑多様化する市民生活の安定のため取り組んでいく。